

BUFR

2024/09/30

FT Vest ラダー・バッファ ETF

≫ ファンドの目的

このアクティブ運用の米国上場投資信託 (ETF) は、投資家にキャピタルゲインの提供を目指します。

≫ ファンド概要

ファンドティッカー	BUFR
ISIN	US33740F7556
CUSIP	33740F755
ファンド設定日	2020/8/10
主要取引所	Cboe BZX

≫ 手数料および費用[^]

管理手数料	0.20%
ファンドの取得手数料と費用	0.85%
総経費率 [^]	1.05%
手数料免除と経費払い戻し [^]	0.10%
純経費率 [^]	0.95%

≫ ファンド詳細

≫ 当ファンドは、ターゲット・アウトカム ETF (以下、「原資産 ETF」) のラダー型ポートフォリオを通じて投資家にダウンサイド・リスクを抑えながら米国大型株市場へのエクスポージャーを提供することにより、投資目的を達成することを目指します。

• 原資産ETFは、SPDR S&P 500 ETF Trust (以下「SPY」) の価格リターンに基づき、約1年のターゲット・アウトカム期間中、あらかじめ設定されたキャップまでのアップサイドの可能性と10%のダウンサイド・バッファの提供を狙うオプション戦略を採用しています。ファンド自体は、損失に対するバッファも提供しませんし、原資産ETFの明示されたキャップやバッファを完全に直接体験しようとするものでもありません。

≫ 通常、ファンドは1ヶ月以内に満期を迎えるFLEXオプション付きの原資産ETFを1本、2ヶ月以内に満期を迎えるFLEXオプション付きの原資産ETFを1本、3ヶ月以内に満期を迎えるFLEXオプション付きの原資産ETFを1本、といった具合に満期12ヶ月までのFLEXオプション付きの原資産ETFを保有します。

≫ 原資産ETFのローリングまたはラダー方式は、原資産ETFを一度に売買するリスクと比較して、投資期間の分散を生み出します。ファンドが原資産ETFを購入するタイミングによっては、ラダー方式であっても、ファンドがターゲット・アウトカム期間の開始時に原資産ETFを購入しない限り、原資産ETFのキャップおよび/またはバッファが枯渇する可能性があります。

≫ 新しいターゲット・アウトカム期間の開始時に、関連する原資産ETFのキャップは市場の実勢に合わせてリセットされます。各原資産ETFの後続のアウトカム期間のキャップは、当初のアウトカム期間とは異なる可能性があります。

• 通常、ファンドは対象のターゲット・アウトカム期間の初日または最終日にそれぞれ原資産ETFを購入または売却することはなく、対象のターゲット・アウトカム期間中にファンドが提示した成果が実現する可能性は高くありません。

≫ ファンド・サブ・アドバイザー

≫ Vest Financial LLC (以下「Vest」) はファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。
• Vestは2012年に設立され、2016年に初めて市場に導入されたターゲット・アウトカム戦略を採用した初の投資ファンドを運用しました。

≫ パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	3.39	12.54	22.21	9.24	—	—	10.12
市場価格	3.43	12.58	22.20	9.17	—	—	10.13
指数パフォーマンス**							
S&P 500® Index	5.89	22.08	36.35	11.91	—	—	15.69

≫ 年次トータルリターン

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	YTD
BUFR	—	—	—	—	—	—	—	12.04	-7.67	19.81	12.54
S&P 500® Index	—	—	—	—	—	—	—	28.71	-18.11	26.29	22.08

≫ 3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
BUFR	11.30	0.14	0.63	0.54	0.98
S&P 500® Index	17.53	—	1.00	0.54	1.00

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は www.ftportfolios.jp から確認できます。

モーニングスター総合評価



オプション取引カテゴリーに属する257ファンドの中、このファンドはリスク調整後リターンに基づき、4つ星/257ファンド(3年)と評価されました。§

[^]ファースト・トラストは、2025年12月31日まで、日次平均純資産額の0.10%の管理手数料を免除することで契約上合意しています。

*基準価額 (NAV) リターンは、ファンドの純資産 (資産から負債を差し引いたもの) をファンドの発行済み株数で割った基準価額 (NAV) に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額 (NAV) リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

§モーニングスター・レーティング™・フォー・ファンド (星評価) は、運用商品(投資信託、変額年金および変額生命保険のサブ口座、上場投資信託、クローズドエンド型ファンド、セパレート口座を含む)で、3年以上の履歴を持つファンドに対して算出されます。上場投資信託(ETF)とオープンエンド型ミューチュアルファンドは、比較目的で単一の集団と見なされます。これは、管理商品の月間超過パフォーマンスの変動を考慮しモーニングスターのリスク調整後、下方変動に重点を置き、一貫したパフォーマンスに報いる指標に基づいて計算されます。モーニングスター・レーティングには、販売負担の調整は含まれていません。各商品カテゴリーの上位10%の商品には5つ星、次の22.5%には4つ星、次の35%には3つ星、次の22.5%には2つ星、下位10%には1つ星が与えられます。管理対象製品のモーニングスター総合評価は、3年、5年、10年(該当する場合)のモーニングスター評価指標に関連付けられたパフォーマンス数値の加重平均から導き出されます。加重は、36-59ヶ月の合計リターンは3年評価で100%、60-119ヶ月の合計リターンは5年評価で60%、3年評価で40%、120か月以上のトータルリターンは10年評価で50%、5年評価で30%、3年評価で20%です。10年間の総合星評価式は、10年間の評価が重視されているように見えますが、実際には、3つの評価期間全てに含まれるため、直近3年間の評価が最も大きな影響を与えています。©2024年 モーニングスター株式会社全著作権所有。ここに含まれるモーニングスター評価の記載情報は：(1)モーニングスターに帰属します。(2)無断複製および配布を禁止します。(3)正確性、完全性、適時性の保証はありません。モーニングスターおよびそのコンテンツプロバイダーは、本情報の使用から生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

FT Vest ラダー・バッファETF

2024/09/30

ポर्टフォリオ情報

保有銘柄数 12

上位保有10銘柄(%)

FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - June	8.38
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - August	8.37
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - July	8.37
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - May	8.37
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - March	8.35
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - April	8.33
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - February	8.33
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - September	8.32
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - January	8.31
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - December	8.30

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、**First Trust Japan (www.ftportfolios.jp)** にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。ファンド株式の活発な取引市場が発展または維持されるという保証はありません。

FLEXオプションを使用して「ターゲットアウトカム戦略」を採用する原資産ETF（以下「原資産ETF」）に投資するファンドは、それ自身が明確なアウトカム戦略を追求しているわけではありません。バッファは原資産ETFによってのみ提供され、ファンド自体は損失に対する規定されたバッファを提供しません。原資産ETFが損失を軽減するための戦略を成功させる保証はありません。ファンドは、原資産ETFへの投資をすべて失う可能性があり、ファンドが設定、またはリバランスの際に原資産ETFの株式を取得する場合、ファンドは通常、原資産ファンドの目論見書に定められたターゲットアウトカム期間（以下「ターゲットアウトカム期間」）の初日に原資産ETF株式を取得しません。同様に、ファンドが償還またはリバランスの際に原資産ETFの株式を処分する場合、そのような処分は通常、ターゲットアウトカム期間の最終日には発生しません。

新しい原資産ETFのキャップは、各ターゲットアウトカム期間の開始時に設定され、一般的な市場環境によって異なります。その結果、キャップが対象期間ごとに上昇または下降する可能性があり、連続する対象期間でキャップが変わらないことはほとんどありません。

原資産ETFの参照証券または指数が対象期間中に上昇した場合、原資産ETFはキャップを超える上昇には関与しません。ファンドがターゲットアウトカム期間の初日以降に原資産ETFの株式を購入し、原資産ETFの価値がキャップに近いレベルまで上昇した場合、ファンドが株式の投資利益を得られることがほとんど、または全く無い可能性があります。しかし、同ファンドはダウンサイドリスクに対して脆弱なままです。

ファンドは、カウンターパーティがその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な経済的損失が生じる可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。インフレ対策として、米連邦準備制度理事会（FRB）をはじめとする特定の外国中央銀行は金利引き上げを行っており、今後さらに引き上げを継続する見込みであり、米連邦準備制度理事会（FRB）は、以前に実施した量的緩和を反転させる意向を表明しています。最近、および将来起こりうる銀行の破綻は、銀行業界や市場全般に混乱をもたらし、金融機関や経済全体に対する信用を低下させる可能性があり、その結果、市場の変動性が高まり、流動性が低下する可能性があります。欧州ではロシアとウクライナ、中東ではイスラエルとハマスやその他の武装勢力の間で武力紛争が続いており、ロシア、ヨーロッパ、中東、米国の市場において、重大な市場の混乱と変動を引き起こしており、今後も引き起こす可能性があります。これらの敵対行為に起因する敵対行為や制裁は、特定のファンド投資だけでなく、ファンドのパフォーマンスと流動性にも大きな影響を与えており、今後大きな影響を与える可能性があります。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行、または将来の公衆衛生危機、およびそれに伴う政府や中央銀行による政策は、世界の金融市場に大きな変動性と不確実性を引き起こし、今後も引き起こす可能性があり、世界の成長見通しに悪影響を及ぼしています。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいため、このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

原資産ETFはFLEXオプションに投資します。FLEXオプションの取引には、証券に直接投資することに関連するリスクとは異なる、または場合によってはそれ以上のリスクが伴います。原資産ファンドは、特定のFLEXオプションのポジションから大幅な下落を経験する可能性があり、特定のFLEXオプションのポジションは無価値で期限切れになる可能性があります。FLEXオプションには流動性のある流通取引市場が存在するという保証はなく、FLEXオプションは取引所取引オプションよりも流動性が低い可能性があります。

FLEXオプションには相関リスクがあり、FLEXオプションの価値は変動が激しく、短期間で大幅に変動する可能性があります。FLEXオプションは、満期日のみ行使価格で行使することができます。満期日前に、FLEXオプションの価値は、市場相場またはその他の認識された価格設定方法に基づいて決定されます。ファンドの保有に関する市場相場がすぐに入手できない場合、ファンドのアドバイザーが保有の公正価値を決定する可能性があります。ただし、これはアドバイザーの判断が必要であり、ミスプライシングや不適切な評価のリスクがあります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

情報技術企業は、急速に変化する技術、短い商品ライフサイクル、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許の喪失、著作権、商標保護、周期的な市場パターン、進化する業界標準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。アクティブ運用ポर्टフォリオのポर्टフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、これらは望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象

など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。ファンドが公開市場で原資産ETFを売却すると、結果として生じる利益または損失がファンドのリターンに悪影響を与える可能性があります。さらに、ファンドは、その作成と償還の一部を現物ではなく現金で行う場合があり、税効率が低くなる可能性があります。さらに、現金取引には、現物取引よりも高い仲介手数料と税金がかかる場合があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1つまたは複数の影響を与える単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カスタディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時期にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

ポर्टフォリオの回転率が高いと、取引コストが高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

ファンドは、特定の原資産ETFに対するエクスポージャーが一時的に大きくなる可能性があり、そのような状況下では、ファンドのリターンは、エクスポージャーが大きい原資産ETFのリターンにより大きく影響されます。ファンドの原資産ETFがSPYを参照するFLEXオプションを保有している場合、ファンドはETFの株式を所有する特定のリスクと、SPYが投資する商品の種類のリスクの影響を受けます。

ファンドの原資産ETFがSPYを参照するFLEXオプションを保有している場合、各原資産ETFは株式証券市場へのエクスポージャーを有します。株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、市場の特定の国、企業、業界、またはセクターでのみ発生する場合もあります。

原資産ETFの投資戦略は、原資産ETFがFLEXオプションにエントリーした初日に株式を購入し、キャップを条件としてターゲットアウトカム期間の終了時にFLEXオプションが満了するまで保有された場合にターンをもちたすように設計されています。

ファンドが課税年度においてRICとして適格ではなく、特定の救済規定が利用できなかった場合、ファンドの課税所得はファンドレベルで課税され、そのような所得が分配される際に株主レベルでさらに課税されます。さらに、ファンドへの投資の種類に基づいて、ファンドに他の税務上の影響がある場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

ファンドが原ETFの株式に投資する場合、原資産ETFが保有する証券を所有するリスクと、ファンドの株式を購入する投資家が直面するのと同じ構造的リスクにさらされます。

単一の資産クラス、国、地域、業界、またはセクターに投資が集中している原資産ETFは、市場全体よりも不利な事象の影響を大きく受ける可能性があります。

原資産ETFに投資するファンドは、投資家が1つまたは複数の原資産ETFのみに投資することで達成できるリターンよりも低いリターンを提供する場合があります。ファンドは各ETFの費用を比例して負担するため、ファンドの株主は重複した経費を負担することになります。原資産ETFのファンドは、それ自身が明確な結果戦略を追求しておらず、原資産ETFの損失に対するバッファを提供しません。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在のまたは将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファースト・トラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベータでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。S&P 500® 指数は、米国の大型株式市場のパフォーマンスを測定するために使用される500社の非管理指です。

Target Outcomeの登録商標は、Vest Financial LLCの登録商標です。

本ファンドおよび原資産ETFは、SPDR® S&P 500® ETF Trust、PDR、Standard & Poor's®（以下、その関連会社と総称して「企業」）によって発行、後援、承認、販売、または宣伝されていません。当社は、ファンドまたはETFに関連する説明および開示の合法性または適合性、または正確性または妥当性を伝えるものではありません。企業は、ファンドまたは原資産ETFへの投資の妥当性、またはファンドまたは原資産ETF、株主、またはSPDR® S&P 500® ETF信託の使用から得られるその他の個人または団体の結果について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。企業は、ファンドまたは基礎となるETFの管理、管理、マーケティング、または取引に関連して責任を負いません。

>> Fund Objective

This actively managed exchange-traded fund seeks to provide investors with capital appreciation.

>> Fund Facts

Fund Ticker	BUFR
ISIN	US33740F7556
CUSIP	33740F755
Fund Inception Date	10/8/20
Primary Listing	Cboe BZX

>> Fees and Expenses[^]

Management Fees	0.20%
Acquired Fund Fees and Expenses	0.85%
Total Expense Ratio [^]	1.05%
Fee Waiver and Expense Reimbursement [^]	0.10%
Net Expense Ratio [^]	0.95%

>> Fund Description

- The FT Vest Laddered Buffer ETF seeks to achieve its investment objective by providing investors with US large cap equity market exposure while limiting downside risk through a laddered portfolio of Target Outcome ETFs[®] ("underlying ETFs").
 - These ETFs use an options strategy that seeks to provide a 10% downside buffer with upside potential, up to a predetermined cap, based on the price return of SPDR[®] S&P 500[®] ETF Trust ("SPY"), for a Target Outcome Period of approximately one year. The fund itself does not provide any buffer against losses, nor does it seek to directly experience the full stated caps and buffers of the underlying ETFs.
- At any given time, the fund will generally hold one underlying ETF with FLEX Options expiring within one month, a second underlying ETF with FLEX Options expiring within two months, a third underlying ETF with FLEX Options expiring within three months, etc., up to and including twelve months.
- The rolling or laddered nature of the underlying ETFs creates diversification of investment time period compared to the risk of buying or selling any one underlying ETF at any one time. Depending on when the fund purchases shares of an underlying ETF, even with a laddered approach, the cap and/or buffer of an underlying ETF may be exhausted unless the fund buys shares at the beginning of a Target Outcome Period.
- At the onset of each new Target Outcome Period, the relevant underlying ETF's cap is reset at prevailing market conditions. The cap for each underlying ETF's subsequent outcome period will likely differ from its initial outcome period.
 - Because the fund typically will not purchase or sell shares of the underlying ETFs on the first or last day, respectively, of a Target Outcome Period, it is not likely that the stated outcomes for a Target Outcome Period will be realized by the fund.

>> Fund Sub-Advisor

- Vest Financial LLC ("Vest") is the sub-advisor to the fund and will manage the fund's portfolio.
 - Vest was founded in 2012 and managed the first investment funds to use a Target Outcome Investments[®] strategy which were first introduced to the market in 2016.

>> Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	3.39	12.54	22.21	9.24	—	—	10.12
Market Price	3.43	12.58	22.20	9.17	—	—	10.13
Index Performance**							
S&P 500 [®] Index	5.89	22.08	36.35	11.91	—	—	15.69

>> Calendar Year Total Returns (%)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	YTD
BUFR	—	—	—	—	—	—	—	12.04	-7.67	19.81	12.54
S&P 500 [®] Index	—	—	—	—	—	—	—	28.71	-18.11	26.29	22.08

>> 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
BUFR	11.30	0.14	0.63	0.54	0.98
S&P 500 [®] Index	17.53	—	1.00	0.54	1.00

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

Overall Morningstar Rating™



Among 257 funds in the Options Trading category.
This fund was rated 4 stars/257 funds (3 years) based on risk adjusted returns.[§]

^{*}First Trust has contractually agreed to waive management fees of 0.10% of average daily net assets until 31 December 2025.

^{*}NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

^{**}Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

[§]The Morningstar Rating™ for funds, or "star rating", is calculated for managed products (including mutual funds, variable annuity and variable life subaccounts, exchange-traded funds, closed-end funds, and separate accounts) with at least a three-year history. Exchange-traded funds and open-ended mutual funds are considered a single population for comparative purposes. It is calculated based on a Morningstar Risk-Adjusted Return measure that accounts for variation in a managed product's monthly excess performance, placing more emphasis on downward variations and rewarding consistent performance. The Morningstar Rating does not include any adjustment for sales loads. The top 10% of products in each product category receive 5 stars, the next 22.5% receive 4 stars, the next 35% receive 3 stars, the next 22.5% receive 2 stars, and the bottom 10% receive 1 star. The Overall Morningstar Rating for a managed product is derived from a weighted average of the performance figures associated with its three-, five-, and 10-year (if applicable) Morningstar Rating metrics. The weights are: 100% three-year rating for 36-59 months of total returns, 60% five-year rating/40% three-year rating for 60-119 months of total returns, and 50% 10-year rating/30% five-year rating/20% three-year rating for 120 or more months of total returns. While the 10-year overall star rating formula seems to give the most weight to the 10-year period, the most recent three-year period actually has the greatest impact because it is included in all three rating periods. ©2024 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. The Morningstar Rating™ information contained herein: (1) is proprietary to Morningstar; (2) may not be copied or distributed; and (3) is not warranted to be accurate, complete or timely. Neither Morningstar nor its content providers are responsible for any damages or losses arising from any use of this information. Past performance is no guarantee of future results.

>> Portfolio Information

Number Of Holdings 12

>> Top Holdings (%)

FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - June	8.38
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - August	8.37
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - July	8.37
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - May	8.37
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - March	8.35
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - April	8.33
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - February	8.33
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - September	8.32
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - January	8.31
FT Vest U.S. Equity Buffer ETF - December	8.30

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

There can be no assurance that an active trading market for fund shares will develop or be maintained.

A fund that invests in underlying ETFs that use FLEX Options to employ a "target outcome strategy" ("Underlying ETFs"), does not itself pursue a defined outcome strategy. The buffer is only provided by the Underlying ETFs and the fund itself does not provide any stated buffer against losses. There can be no guarantee that the Underlying ETFs will be successful in their strategy to buffer against losses. A fund may lose its entire investment in an Underlying ETF. To the extent a fund acquires shares of its Underlying ETFs in connection with creations and during reallocation, the fund typically will not acquire Underlying ETF shares on the first day of the target outcome period defined in the Underlying Fund's prospectus ("Target Outcome Period"). Likewise, to the extent a fund disposes of shares of an Underlying ETF in connection with redemptions and during reallocation, any such disposition typically will not incur on the last day of a Target Outcome Period.

A new Underlying ETF cap is established at the beginning of each Target Outcome Period and is dependent on prevailing market conditions. As a result, a cap may rise or fall from one Target Outcome Period to the next and is unlikely to remain the same for consecutive Target Outcome Periods.

If the Underlying ETF's reference security or index experiences gains during a Target Outcome Period, an Underlying ETF will not participate in those gains beyond the cap. In the event a fund purchases shares of an Underlying ETF after the first day of a Target Outcome Period and the Underlying ETF has risen in value to a level near the cap, there may be little or no ability for the fund to experience an investment gain on its shares; however, the fund will remain vulnerable to downside risk.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. As a means to fight inflation, the Federal Reserve and certain foreign central banks have raised interest rates; however, the Federal Reserve has recently lowered interest rates and may continue to do so. Recent and potential future bank failures could result in disruption to the broader banking industry or markets generally and reduce confidence in financial institutions and the economy as a whole, which may also heighten market volatility and reduce liquidity. Ongoing armed conflicts between Russia and Ukraine in Europe and among Israel, Hamas and other militant groups in the Middle East, have caused and could continue to cause significant market disruptions and volatility within the markets in Russia, Europe, the Middle East and the United States. The hostilities and sanctions resulting from those hostilities have and could continue to have a significant impact on certain fund investments as well as fund performance and liquidity. The COVID-19 global pandemic, or any future public health crisis, and the ensuing policies enacted by governments and central banks have caused and may continue to cause significant volatility and uncertainty in global financial markets, negatively impacting global growth prospects.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

The Underlying ETFs invest in FLEX Options. Trading FLEX Options involves risks different from, or possibly greater than, the risks associated with investing directly in securities. An Underlying Fund may experience substantial downside from specific FLEX Option positions and certain FLEX Option positions may expire worthless. There can be no guarantee that a liquid secondary trading market will exist for the FLEX Options and FLEX options may be less liquid than exchange-traded options.

FLEX Options are subject to correlation risk and a FLEX Option's value may be highly volatile, and may fluctuate substantially during a short period of time. FLEX Options will be exercisable at the strike price only on their expiration date. Prior to the expiration date, the value of the FLEX Options will be determined based upon market quotations or other recognized pricing methods. In the absence of readily available market quotations for fund holdings, a fund's advisor may determine the fair value of the holding, which requires the advisor's judgement and is subject to the risk of mispricing or improper valuation.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

Information technology companies are subject to certain risks, including rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and regulation and frequent new product introductions.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

When a fund sells Underlying ETFs in the open market, the resulting gain or loss may have a negative impact on fund returns. In addition, a fund may effect a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind, which may be less tax efficient. In addition, cash transactions may involve higher brokerage fees and taxes than in-kind transactions.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

A fund may have temporary larger exposures to certain Underlying ETFs and under such circumstances, a fund's return would be more greatly influenced by the returns of the Underlying ETFs with the larger exposures.

If a fund's Underlying ETF holds FLEX Options that reference SPY, the fund is subject to certain of the risks of owning shares of an ETF as well as the risks of the types of instruments in which SPY invests.

If a fund's Underlying ETF holds FLEX Options that reference SPY, each Underlying ETF has exposure to the equity securities markets. Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

An Underlying ETF's investment strategy is designed to deliver returns if shares are bought on the first day that the Underlying ETF enters into the FLEX Options and are held until the FLEX options expire at the end of the Target Outcome Period subject to the cap.

If a fund does not qualify as a RIC for any taxable year and certain relief provisions were not available, a fund's taxable income would be subject to tax at the fund level and to a further tax at the shareholder level when such income is distributed. Further, there may be other tax implications to a fund based on the type of investments in a fund.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

The fund's investment in shares of the Underlying ETFs subjects it to the risks of owning the securities held by the Underlying ETF, as well as the same structural risks faced by an investor purchasing shares of the fund.

An underlying ETF with investments that are concentrated in a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by adverse events than the market as a whole.

A fund that invests in Underlying ETFs may provide returns that are lower than the returns that an investor could achieve by investing in one or more Underlying ETFs alone and the fund bears its proportionate share of each ETF's expenses, subjecting fund shareholders to duplicative expenses. A fund of Underlying ETFs does not itself pursue a defined outcome strategy and does not provide any buffer against Underlying ETF losses.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance.

The Target Outcome registered trademarks are registered trademarks of Vest Financial LLC.

The fund and the underlying ETFs are not issued, sponsored, endorsed, sold or promoted by SPDR® S&P 500® ETF Trust, PDR, Standard & Poor's® (together with their affiliates hereinafter referred to as the "Corporations"). The Corporations have not passed on the legality or suitability of, or the accuracy or adequacy of, descriptions and disclosures relating to the fund or the underlying ETFs. The Corporations make no representations or warranties, express or implied, regarding the advisability of investing in the fund or the underlying ETFs or results to be obtained by the fund or the underlying ETFs, shareholders or any other person or entity from use of the SPDR® S&P 500® ETF Trust. The Corporations have no liability in connection with the management, administration, marketing or trading of the fund or the underlying ETFs.

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「PPM（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではなく、記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2024112601

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp